

千電協会報



一般社団法人

千葉県電業協会

2020. 1 第46号



目次

(敬称略)

● ご挨拶

会 長	五十嵐 治 美
千葉県知事	森 田 健 作
千葉県県土整備部営繕課 課長	川 上 勉
(一社)日本電設工業協会 会長	後 藤 清

● 1年を振り返って

- ・第57回通常総会・懇親会
- ・平成31年度・会員交流会
- ・三県連絡会議
- ・千葉県高等学校工業教育研究会 「総合技術コンクール」
- ・委員会報告
 - 防災・渉外委員会
 - 技術・人材委員会
 - 総務・企画委員会

● 寄稿文

「創立20周年を迎え、次の10年へ」	(株)環境テクノス	塚田 浩康
「ゴルフは「心と身体」を満たす不思議なスポーツ」	竹森電設(株)	竹森 久男
「癒しの看板犬」	(株)嘉崎電設工業	伊井 黎香

● 会 員 消 息

● 会 務 報 告

● 総 会 日 程 案 内

● 協 会 役 員

● 組 織 表

● 会 員 名 簿

● 編 集 後 記



(表紙等の写真)

ZOZO マリンスタジアム(千葉市)
当協会事務局・提供

年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長

五十嵐 治 美

皆様、明けましておめでとうございます。

2020年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げますとともに、日頃から協会活動に対する皆様のご理解ご協力に心より御礼申し上げます。

昨年は、地球温暖化の影響から局地的大雨が日本全国を襲い大きな被害をもたらしました。その中でも、千葉県では台風15号、19号、さらに21号に伴う記録的な大雨や暴風で、県土に甚大な被害が生じました。長引く停電や家屋の損壊、河川の氾濫による浸水など災害に遭われた県民の皆様、協会員の皆様に心からお見舞い申し上げます。

協会会員の社屋の損壊状況を調査したところ、何らかの不具合を含めると全体の3分の1にあたる36社から被害報告がありました。雨漏りはもちろんのこと、事務所のシャッターや倉庫の屋根が飛ばされ、壁や窓ガラスにヒビが入る等、余りの被害の多さに驚きました。大地震に遭遇した際の会員間の連絡網は確立されておりますが、このような台風や自然災害時の伝達マニュアルがまだ確立されておられません。これを教訓といたしまして、協会では会員の安否確認を第一に優先し、新たな有事の際の相互扶助体制を築いて参ります。

さて、いよいよ今年2020年は東京オリンピック・パラリンピック開催の年となります。私たち国民皆がこの大会の実現に向けて心を一つにし、世界に向けて誇れる日本の姿に夢と希望を抱いて参りました。平成の失われた20年から脱出できた証としての大きな節目になる年と考えられます。「コンクリートから人へ」の政策を掲げた民主党前政権が終焉し、2012年暮れの自民・公明党への政権交代以来、不安的要素を抱えながらも日本経済は右肩上がりの様相を呈してきました。私たち建設業界においても受注が滞ることも少なくなり、雲の間から薄日が射し始めて7年が経とうとしています。以前の民主党時代に凍結していた「八ッ場ダム」や「スーパー堤防」もその後建設が進み、これらの治水事業により利根川流域では台風19号の被害を防ぐことが出来た、という話が伝わってきました。

各地で毎年多くの自然災害に見舞われ復興に取り組んでいる日本は、東日本大震災からまさに「コンクリートが人を救う」という時代に変わりつつあります。

私たち協会も 2020 年を節目の年とし、これからの電気業界のあり方の転換期と考えています。「働き方改革」についても 2024 年の労働時間規制に向けて本格的に取り組んでいかねばならない実施時期に入ります。日本の人口は 2008 年の 1 億 2,808 万人をピークに年々減り始めています。高齢化に至っては世界一のスピードで進んでおり、労働人口の減少は日本経済の減速を招き、国内市場の縮小へ繋がることとなります。労働力不足を補うために長時間労働が更に深刻化し、ワーク・ライフ・バランスも改善されず、少子化が更に進行していくこととなります。私たち建設業は「働き方改革」により生産性の向上を目指し、2022 年 4 月までに「週休 2 日」および「時間外労働 720 時間以内」を実現させねばなりません。しかし人手不足が深刻化する中で、いかにしてゆとりのある職場へ改善できるかが大きな課題となっています。

協会として「働き方改革」実現に向けて次のことを提唱して参ります。第一は年度末の工事の集中を避けること。また年度当初に仕事の空きをなくすには、工期の平準化にかかってくる。一年を通して労働力を分散することで緩急のない職場環境の改善を図ります。

次に適正利潤の確保を可能とするために予定価格の適正化が挙げられます。現状より短い労働時間になっても今の給与を維持しなければなりません。また、若者たちを呼び込むためには他業種に負けない賃金制度を構築しなくてはなりません。労務単価の上昇は企業にとって切なる要望となります。そして実務においては、残業、休日出勤の要因になっている膨大な書類の簡素化と統一化を進めていただき、さらに、不足する労働者を補うために、外国人労働者の業務内容の拡大を求めて参ります。

ところで、東京オリンピック・パラリンピック開催後の日本はどのようなのでしょうか。各地で再開発事業計画が進んでいるようですが、建設投資が継続的に行われなくては明日の建設業の担い手を確保することができません。広範囲に及ぶ社会基盤インフラの整備や 2025 年大阪・関西万博が次の景気の後押しとなることを期待いたします。

また、私たち協会の行事として、2022 年には、上部団体の（一社）日本電設工業協会の会員大会が関東支部主催で開催されます。全国を 9 つの支部に分け、各支部の都市を一巡していますが、前回 2013 年の関東大会は東京お台場において盛会裏に行われました。2 年後の全国大会は当千葉県が開催地となり、全国から電気工事業関係の方々をお招きすることとなります。新たな目標としての全国会員大会の開催成功に向け、協会員全員で、「おもてなし」の心をもって準備を進めて参ります。

最後に、令和という新たな時代に電気工事業の豊かな未来が訪れることを期待し、協会員並びに社員の方々、ご家族の方々にとって実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

森田健作



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

日頃より、皆様には、電気工事業に関する知識の普及・啓発、電気技術の向上等に積極的に取り組まれるなど、本県の電気業界の健全な発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨秋の台風及び大雨では、これまでにない甚大な被害が発生し、今なお不自由な生活を余儀なくされている方々がいらっしゃるものと存じます。

県では、引き続き、被災された方々の生活再建や産業の再生等の取組を総合的かつ計画的に進めるとともに、今後も防災対策の一層の充実や強化を図り、「災害に強い千葉県づくり」を推進してまいります。

さて、今夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、県内で8競技が実施されます。

開催効果を最大限に活用し、オール千葉でおもてなしの機運醸成や、積極的な観光プロモーションに取り組むとともに、人材育成や地域活性化につながるよう、国際交流を進めていきます。

社会基盤の整備では、成田空港において、第3滑走路の新設等の「更なる機能強化策」の実施に向けた手続きが進められており、これにあわせて関係機関と連携し、環境対策の実施と、地域と空港の発展が好循環する地域づくりの実現を目指します。

また、首都圏中央連絡自動車道の令和6年度の全線開通や、北千葉道路の未事業化区間の早期事業化、湾岸地域における規格の高い新たな道路ネットワークの計画の早期具体化への取組を推進します。

経済の活性化については、前向きに挑戦する中小企業を応援するとともに、県、市町村、民間の役割分担で産業用地の整備に取り組みます。

県民の安全と安心の確保については、防犯ボックスの新規開設等、地域防犯力の向上に努めるとともに、関係機関と連携して「電話 de 詐欺」の撲滅、交通事故防止に取り組みます。

昨年、両親からの虐待により女兒が亡くなるという痛ましい事件が起きたことから、「千葉県子どもを虐待から守る条例」に基づく新たな基本計画を策定し、児童虐待死亡事例等検証委員会の答申を踏まえた児童相談所の機能強化等、児童虐待防止に向けた対策を進めます。

また、保育所の整備等による待機児童の解消や医療・介護人材の確保等により、県民が健やかで生き生きと暮らせる社会づくりに取り組みます。

10月18日に開催する「ちばアクアラインマラソン2020」では、国内外のランナーや応援に駆け付けた方々を日本一のおもてなしの心でお迎えします。

630万県民の皆様とともに、「がんばろう！千葉」を合言葉に、次世代に誇れる光り輝く千葉県の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

川 上 勉



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人千葉県電業協会の会員の皆様には、千葉県の営繕行政の推進にあたり、日頃より御理解と御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年の台風15号・19号、そして10月25日の豪雨の際は、千葉県でも多くの方々が被災され、県内各地で大きな被害が発生いたしました。会員の皆様には、災害発生直後から、復旧・復興に御尽力いただき、重ねてお礼申し上げます。

千葉県といたしましても、被災者支援のため様々な取組を行っており、営繕関係各課でも職員を被災市町村へ派遣し、罹災証明書の発行のための家屋調査や被災住宅の修繕のための支援制度の受付業務などで御協力をさせていただいております。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く通常の生活に戻られることを願っております。

さて、千葉県が整備する公共建築物は、様々な分野の行政サービスを提供する拠点として、また、県民の皆様の貴重な共有財産として、地域や環境と調和し、災害にも強い、優れた品質の施設とすることはもとより、長寿命で、人にも優しい施設であることなど高い性能や配慮が求められています。

千葉県の施設は、築30年以上の建物が約7割を占めており、老朽化対策を進めるため、平成29年11月に「千葉県県有建物長寿命化計画」が策定されました。現在、この計画に基づき、総合スポーツセンターの大規模改修や、山武合同庁舎新築工事の基本設計などを進めており、今後も計画に基づき良好な県有施設の整備に取り組んでまいります。

こうした中で、建築電気設備につきましては、各種センサーによる照明制御や高効率変圧器の採用等により維持管理コストの低減を図るとともに、太陽光発電設備や非常用発電設備の設置等により環境や防災に配慮した設計を行っているところです。このような電気設備工事は、技術の進歩が早く、高い専門性や高度な技術を必要とすることから、多くの

専門技術者を擁し、豊富な知識と経験を有する会員皆様の御協力がぜひとも必要となってまいります。今後も引き続き、千葉県の営繕行政の推進に御協力いただきますようお願いいたします。

また、会員の皆様には、日頃から、新しい法令・制度や最新技術の研鑽、後継者の育成、安全管理の徹底等に励まれておられます。電気設備業界のリーダーとして、県民生活の安全確保と公共福祉の増進、更には、地域産業の振興等に引き続き御尽力いただきますようお願い申し上げます。

今年は、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。関係各所で様々な準備が進められており、千葉県においても、競技会場としてふさわしい環境を整えるため、7競技の会場となる幕張メッセの大規模改修や、サーフィン会場となる一宮町釣ヶ崎海岸での自然公園施設の整備など順調に進められていると聞いております。オリンピック・パラリンピックの成功を心より願っております。

結びに、新たな年が災害のない穏やかな一年であり、千葉県の将来にとって希望の年となることを祈念するとともに、一般社団法人千葉県電業協会の更なる御発展と会員の皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

後藤 清



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、5月に皇太子殿下が即位され、元号も「令和」に変わり、新しい時代に向けた祝賀ムードの溢れる年でした。また、我が国初のラグビーのワールドカップも大変な盛り上がりでした。電気設備工事業界もオリンピック・パラリンピックを控え、忙しい一年であったと思います。

一方昨年は、大きな自然災害が続いた一年でもありました。台風15号の関東直撃では想定外の長期停電、続く19号では広域での浸水被害など、日本はつくづく災害大国で、今後とも想定もしない大きな災害に見舞われる危険性があること、そしてライフラインとしての電気の重要性が改めて認識されたのではと思います。

電気は水と並んで最も重要なインフラとこれまでも申し上げてきましたが、停電による断水などをみると「電気」が最も基盤的なインフラとも思えます。近時の事例を前に、発災後のBCP（事業継続計画）対策についても、業界の使命として今後、積極的に取り組んでいきたいと考えております。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、活気ある一年が期待されます。一方建設業界では、技術者・技能者の高齢化や若年入職者の減少に伴う担い手確保の困難さは深刻な問題であり、そのためにも「働き方改革」の推進が重要な課題です。

電設協では、一昨年策定した「働き方改革に向けた基本方針」に基づき、取組を進めてまいりましたが、本年はさらに働き方改革に向けた取組を加速させるとともに、先進的な取組事例の会員への情報提供の仕組みなどを新たに検討したいと考えております。

また、新・担い手三法を背景とする「適切な工期設定と工程管理」への取組、建設キャリアアップシステムに対応する「能力評価基準」の作成や、「特定技能制度」を活用した外国人技能労働者の受入れの検討も今年の課題です。

本年も本部・支部及び各都道府県協会が手を携え、関係機関等との連携を強化しつつ、行動する電設協として「夢と生きがいのある電設業界」を目指してまいります。

結びに、皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



1 年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

第57回通常総会

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和元年 5月22日 オークラ千葉ホテル	第57回通常総会 ・第1号議案 平成30年度事業報告について ・第2号議案 平成30年度収支決算の承認について ・第3号議案 会費改定(案)の承認について ・第4号議案 平成31年度事業計画について ・第5号議案 平成31年度収支予算について ・第6号議案 理事選任の承認について	出席 56人 書 面 28人 委任状 20人 計 104人

第57回通常総会懇親会

開催日時、場 所	出席者・対象等
令和元年 5月22日 オークラ千葉ホテル	来賓 19名 会員 53名 員外監事 1名 賛助 34名 計 107名



会員交流会

全体会として開催	開催日	会 場	出席者
全体会	9月13日(金)	成田山新勝寺(成田市)	29名
地区別分科会	同 上	ホテルウェルコ成田(成田市)	35名
懇親会	同 上	同 上	34名



三県連絡会議

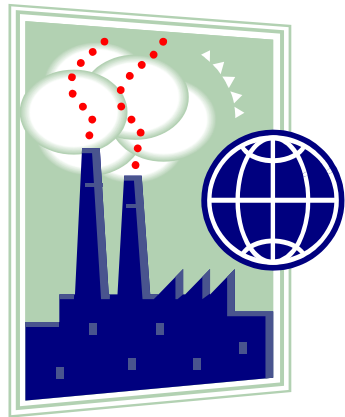
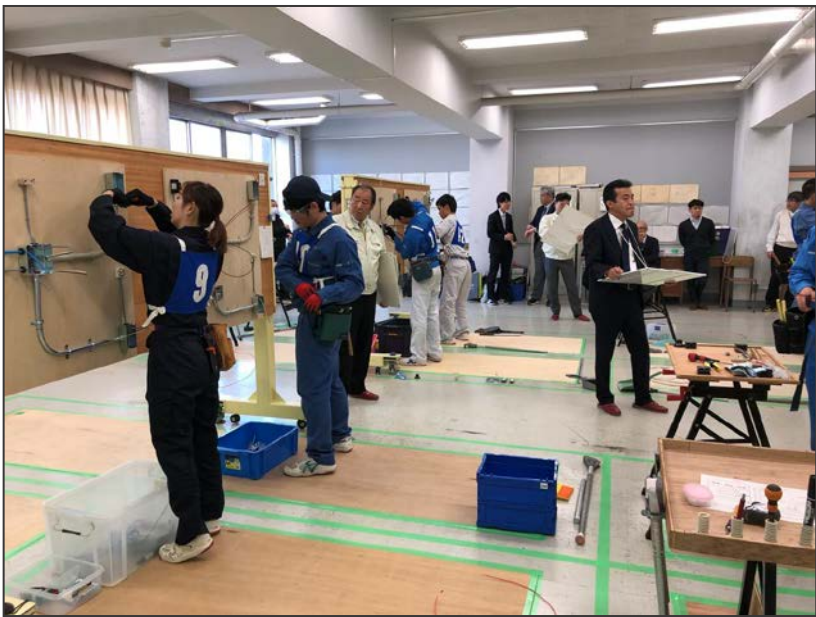
開催日時、場 所	内 容
令和元年 10月23日(水) 浦安ブライトンホテル	(提出議題) ・各協会の中長期計画にどのように取り組んでいるのかについて(埼玉県) ・各電業協会の防災協定について(神奈川県) ・2020年以降(ポスト五輪)の景気状況と受注見通しや分離発注・増注活動等の対策について(千葉県)

出席者数	
千葉県	9名
神奈川県	3名
埼玉県	5名



千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
11月16日(土) 県立千葉工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校総合技術コンクール審査員派遣 ・電気工事を含む10部門による競技 ・大会参加者 県内9校 151名 	審査員 4名 ※千葉県電気工事工業組合と合同派遣	9/4 事前打合せ 10/21 事前打合せ



委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

南山 和也



新年あけましておめでとうございます。

防災・渉外委員会の平成31年度の活動についてご報告申し上げます。

昨年、千葉県では、台風15号・19号や竜巻・豪雨等により大きな被害がありました。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げるとともに、復旧に向けて尽力された皆様に感謝を申し上げます。

災害防止事業として、防災体制の維持・向上を念頭に活動を積み重ねてきましたが、いざ台風被害にあうと、具体的にはどう対処すべきかに戸惑いを覚えたのが正直なところでした。まず、停電や断水により、企業活動自体が滞るケースもありました。当協会として、また、多くの会員企業の業態としては、道路照明等の県施設のパトロールや電力供給インフラの復旧に対して貢献することもかなり困難であったと思います。

災害時は自助・共助・公助の順で重要性があると言われてますが、自助・共助のためには、各社が停電や断水等の非常時でも企業活動が行える体制づくりが必要であると感じました。また、当協会としては、地元の電気工事業者として、現実的にどのような貢献をしていけるのかを検討する必要があると感じたので、昨年に得られた反省や知見を、今後の防災体制のブラッシュアップへとつなげていけたらと思います。渉外活動については、例年の活動に加え、道路照明のLED化に向けての陳情を行いました。引き続き、増注も視野に入れて活動をしていきたいと思っています。

防災面・渉外面ともに、会員の皆様にも引き続き活動へのご理解・ご協力を頂けますようお願い申し上げます。

(1)災害防止事業

①震災訓練等

開催日時、場所	内容	出席者・対象等	備考
令和元年 8月23日	協会独自の情報伝達訓練	全会員 109社	
8月30日	千葉県県土整備部との 合同震災訓練	本部 12名参集 出先対応 59名実働	県内全域

②県出先機関防災説明

実施日	内容	出席者・対象者	訪問先
令和元年 6月	災害応急対策組織及び災害応急 業務について	地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長、事務所隊長	県出先機関 21事務所

③その他災害応急対策に係る事業

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
令和元年 7月17日 オークラ千葉ホテル	防災研修会① テーマ 『建設現場で役立つ気象情報』 (講師) (株)ウエザーマップ 久保井 朝美 氏	会員 82名	

(7)公共工事発注機関への陳情・提言等事業

月 日	陳 情 先	陳 情 者	内 容
平成31年 4月10日	県土整備部 教育庁 他 公 社	会長、副会長3名 事務局長	県異動挨拶 ・会員への優先発注 ・分離発注の積極導入について
令和元年 6月	県出先機関 21土木事務所 他 計 58か所	地区担当理事 防災・渉外委員 他	県出先機関等異動挨拶 ・会員への優先発注 ・分離発注の積極導入について
9月10日	県土整備部 営繕課 施設改修課 教育庁企画管理部 財務施設課	常任理事 2名 防災・渉外委員長 技術・人材委員長 常務理事	県との意見交換会 ・指名業者選定基準について ・県産品の対象について ・新技術、新商品の採用条件等について ・入札不調、再入札、工期延長等の評価方法について
9月10日	県道路環境課	常任理事 2名 防災・渉外委員長 技術・人材委員長 石井常務理事	道路照明のLED化に関する意見交換
12月11日	関東地方整備局	五十嵐会長	意見交換会

※意見、要望、提案事項等の内容につきましては、HPをご覧ください。



委員会報告 技術・人材委員会

委員長

細 矢 充



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、関係各位のご協力を賜り、皆様の日頃の仕事に役立つ研修会をはじめ、技術向上・資格取得・営業活動支援などの各活動を、年度計画通り実施することが出来ました。会員企業から数多く御参加を頂き、各事業とも盛会で終えることができました。ここに深く感謝申し上げます。

いよいよ、オリパラ東京大会の年を迎えました。さらに、2025年には大阪万国博覧会の開催もあり、日本を舞台とした世界的行事の開催に胸が躍ります。また、それによるインバウンドや設備投資などの経済波及効果にも、大いに期待したいところです。

半面、技術者・労働者不足がさらに深刻化していく恐れも感じます。当委員会では新技術や新商品等の研究調査を重ね、業務の効率化を図ることとともに、会員各社の雇用拡大、提案営業、高収益を支援し、若い担い手の確保に役立てばと切に願っております。

さらに本年は、会員各社一人ひとりが技術向上の機会を享受できるようにITを活用したシステムを構築します。より会員皆様のお役に立つ技術・人材委員会を目指しておりますので、引き続き、皆様のご支援をお願い申し上げます。

(3) 講習会事業

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	結果等
平成31年 4月16日 17日 経営者会館	1級電気工事施工管理技術 検定学(学科)試験受験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 11名 非会員 7名 地域開発 30名	筆記試験合格率 全国 40.7 % 協会 72.2 %
令和元年 8月28日 経営者会館	1級電気工事施工管理技術 検定(実地)試験受験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 13名 非会員 10名 地域開発 42名	

(4) 事故防止事業

① 安全研修

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和元年 7月17日 オークラ千葉ホテル	安全研修会 「安全管理について」 講 師 日本大学スポーツ科学部 非常勤講師 向井 廣志 氏	会員 82名

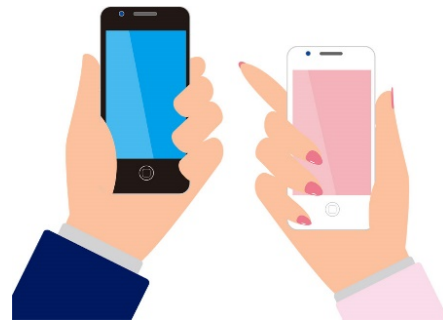
(5)資機材調査研究事業

①資機材調査研究

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和元年 11月21日 Ocean Table	賛助会員との情報交換会	役 員 4名 委 員 6名 賛助会員 15名

(8)人材の確保及び育成事業

開催日時、場 所	内 容	出席者数
平成31年 4月3、4、5日 オークラ千葉ホテル	新入社員研修会 (千葉県建設産業連合会 共催)	会 員 8名
11月21日 オークラ千葉ホテル	技術研修会 ・「5G(第5世代移動通信システム) これからの展望」 講師:ソフトバンク株式会社 法人事業統括 法人プロダクト&事業戦略本部 モバイルES 統括部 モバイルプロダクト3部 小池 勝矢 氏 ・「電子入札システムにおける注意点について」 講師:千葉県県土整備部建設・不動産業課 副課長 森川 陽一 氏	会 員 44名 賛助会員 7名



委員会報告 総務・企画委員会

委員長

中村和彦



新年明けましておめでとうございます。

総務・企画委員会より、昨年の委員会報告をさせていただきます。

昨年は9年ぶりに全体会としての会員交流会を成田市内において開催しました。成田山新勝寺大本堂へのお参りから始まり、昼食では『修行膳』を頂き、その中でこちらでしか食すことが出来ない、大浦ゴボウの存在感の大きさに大変驚き、印象に残りました。安全についての法話では、チームワークやコミュニケーションの話が大いに参考となったので、会社内や委員会でも活かしていこうと思っています。

次に、場所をホテルに移して各地区の分科会を開催し、その後は懇親会で普段は会えない他地区の方とも親睦を深めることが出来たので、有意義な会員交流会となったのではないかと思います。

ただ、開催前に台風15号等の被害の影響もあり、出席者が少なかつたことだけがとても残念でした。昨年は他にも台風19号、豪雨、竜巻などの災害が続き、皆様もその対応が大変だったと思います。今年の会員交流会の出席者がまた増えることを願っています。

今後も当委員会の活動にご協力・ご理解をいただき、本年もどうぞよろしくお願いたします。

就労支援事業

開催日時、場 所	内 容
平成31年	
1月11日 ポリテクカレッジ千葉	出前授業
1月29日 東総工業高校	出前授業
2月 7日 千葉工業高校	出前授業
2月21日 市川工業高校	出前授業
4月 全会員向け	人材育成・確保に関する調査の実施(採用状況、インターシップ受入れ等)
令和元年	
6月 県内工業高校等9校	人材育成・確保に関する調査の実施結果及び各学校の就職率等についての訪問調査
12月11日 ポリテクカレッジ千葉	出前授業
3月13日 みつわ台中学校	CCIからの要請による出張授業(電気)
令和元年	
11月12日 市立有吉小学校	CCIからの要請による出張授業(電気)

広報関係

内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新 ・各行事 予定、案内、報告 ・人材情報 ・他団体からの各案内 ・建設新聞各紙への取材依頼 ・1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会の一般募集 ・通達等 国関係、関東地方整備局、県関係、その他 ・入札公告 北関東防衛局